

令和8年度 社会教育担当者研修会②(上級編)

社会教育・生涯学習に関わる人のための さわやかちば県民プラザ研修事業

9月2日(水)、オンライン形式にて 国土館大学 文学部 教授 皆川 雅樹 氏を講師に迎え、「社会教育の『壁』を越える実践知～学びをコーディネートする力～」をテーマにご講演いただきました。

講義では、社会教育・生涯学習の基本や、現代の社会課題に対応するためのコーディネートの考え方について学びました。また、生成AIを活用し、日々の実践で感じている課題等を解決する糸口を探る方法についてご講義いただきました。

受講者は、生成AIで自身の取組や役割を分析し、課題等を整理しました。講師からの助言を踏まえ、今後の実践に必要な視点や自身が取り組むべき課題について考えを深めることができました。

受講者の皆様からいただいたアンケートでは満足度100%という結果が出ました。

**壁を越え、余白を活かす
「コーディネート力」**

異なる他者どうしが相互理解を深め、互いを支え合う「協働」へと調整する力。

「協働」とは何か？

- ・ 共同：同じ目的のために一緒に事を行うこと
- ・ 協同：互いに協力し、助け合うこと
- ・ 協働：対等な立場で、互いの得意分野を活かしながら力を合わせて共通課題を解決すること。

※社会教育士・コーディネーターの最大の武器は、自分で全てを解決することではなく、「繋ぐ」ことです。



講座の一場面

国土館大学 文学部
教授 皆川 雅樹 氏

【受講した方々の声】

- 大人の学習現場や地域コミュニティにおいては、「コーディネート」が求められていることを学んだ。コーディネーターに求められる3つの資質と能力を学び、今後、地域活動等に携わる中で、これまで以上に地域のことを自分ごととして捉え、相手の立場に立って考えて行動することを意識していきたい。
- 今後、講習会に参加し「社会教育士」になりたいと思うようになりました。本日はありがとうございました。
- 生成AIとの対話は、自分自身との対話であると感じました。生成AIが、よいタイミングで質問することで、「自分は何をしたいのか」がはっきりとすることが分かりました。今後の業務に生かしていきたいと思います。生成AIとの対話の中で、『主体性の壁』があると感じていましたが、実際に壁になっていたのは、「自分の行動が周りをどう評価するのか」が行動の基準になっていたことでした。自分の気付きを共有することも、学びの場をコーディネートする一歩と考えて、自分らしく主体性をもって明日から行動していきたい。
- 生成AIを活用し、自分が抱えている課題を整理して具体的な第一歩を導き出すことができました。今後も生成AIを活用しながら課題を解決していきたいと思います。
- 生成AIとの壁打ち利用は新しい領域への体験でした。そういう使い方もあるのだと実践できて良かったです。

～さわやかちば県民プラザでは、社会教育・生涯学習推進に関するさまざまな研修・講座を実施しています！～